学校番号	416

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版 ＯＮ！１（音楽之友社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱や器楽（クラシックギター）を通して、楽譜の読み方を基礎からやります。目・耳・口・手・頭を使い、体感しながら習得していきます。習得した技術を用いて表現を工夫していきます。
鑑賞では音楽を視聴して知識を深めていきます。学習の到達度は実技テストと筆記及び聴き取りテスト、日々の取り組みを見て評価します。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	授業を一つのきっかけとして、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌おう	・翼をください ・小さな空 ・夏は来ぬ	a:(知)音程・リズムを理解している。 (技)曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方をしている。 b:フレーズや強弱を意識している。 c:自他共に認識できる声が出ている。	実技テスト	演奏の聴取	観察
	ギター基礎1	・クラシックギターの構え方、押さえ方、左手の広げ方 ・かっこう ・チューリップ ・かえるのうた	a:構え方や押さえ方がきちんとできて演奏している。 b:良い音をイメージし、その音に近づけるように考えながら演奏している。 c:練習に主体的に取り組んでいる。	実技テスト	演奏の聴取	観察
2学期	知ろう・楽しもう	・民衆の歌 ・オンブラマイフ ・野ばら ・音楽の歴史(世界)	a:(知)音程・リズムを理解している。 (技)曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方をしている。 b:フレーズや強弱を意識している。 c:音楽の良さや美しさを味わって視聴している。	実技テスト	ペーパーテスト	ワークシート
	ギター基礎2	・1～6弦までのメロディ奏 「カントリーロード」 「チェリー」 「黄金虫」 ・CとGのコード	a:構え方・指使い・押さえ方が正しくでき、良い音が出ている。 b:フレーズを感じながら演奏している。 c:練習に主体的に取り組んでいる。	実技テスト	演奏の聴取	観察
3学期	合わせよう	・ビートカノン ・島人ぬ宝(三線) ・日本とアジアの音楽	a:(知)日本を含むアジアの音楽の種類や特徴を理解している。 (技)お互いのパートを意識しながら演奏している。 b:各リズム・パターンのニュアンスを生かしながら、フレーズや強弱を工夫している。 c:練習回数を積んで息が合っている。	実技テスト ワークシート	演奏の聴取	観察

	ギター基礎3	・Em と D7 のコード ・「カントリーロード」弾き歌い	a:コードを正しく押さえ、チェンジがスムースにできる。 b:メロディを感じながらストロークできる。 c:練習に主体的に取り組んでいる。	実技テスト	演奏の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度